

CNFを活用したバラの香り化粧品の開発 バラ抽出エキスとCNFによる香り・保湿・使用感の品質向上

連携先：株式会社コーヨー化成

企業概要

所在地：(本社) 静岡県静岡市清水区蒲原神沢387

(ウェット事業部) 静岡県富士市大淵1710-1

事業概要：1973年(昭和48年)創業以来、プラスチック成形加工、レーザー加工及び金型設計を行う。1981年(昭和56年)からは、ウェット事業部を創設し、化粧品等の企画・開発及び製造販売を行う。

連携成果の概要・特徴

成果品の紹介

●スキンウォーター

潤いと癒し効果を肌に届けるミストタイプの化粧水です。

●フレグランスジェル

しっとり肌を包み込むジェルタイプの美容液です。

●ボディ&ハンドクリーム

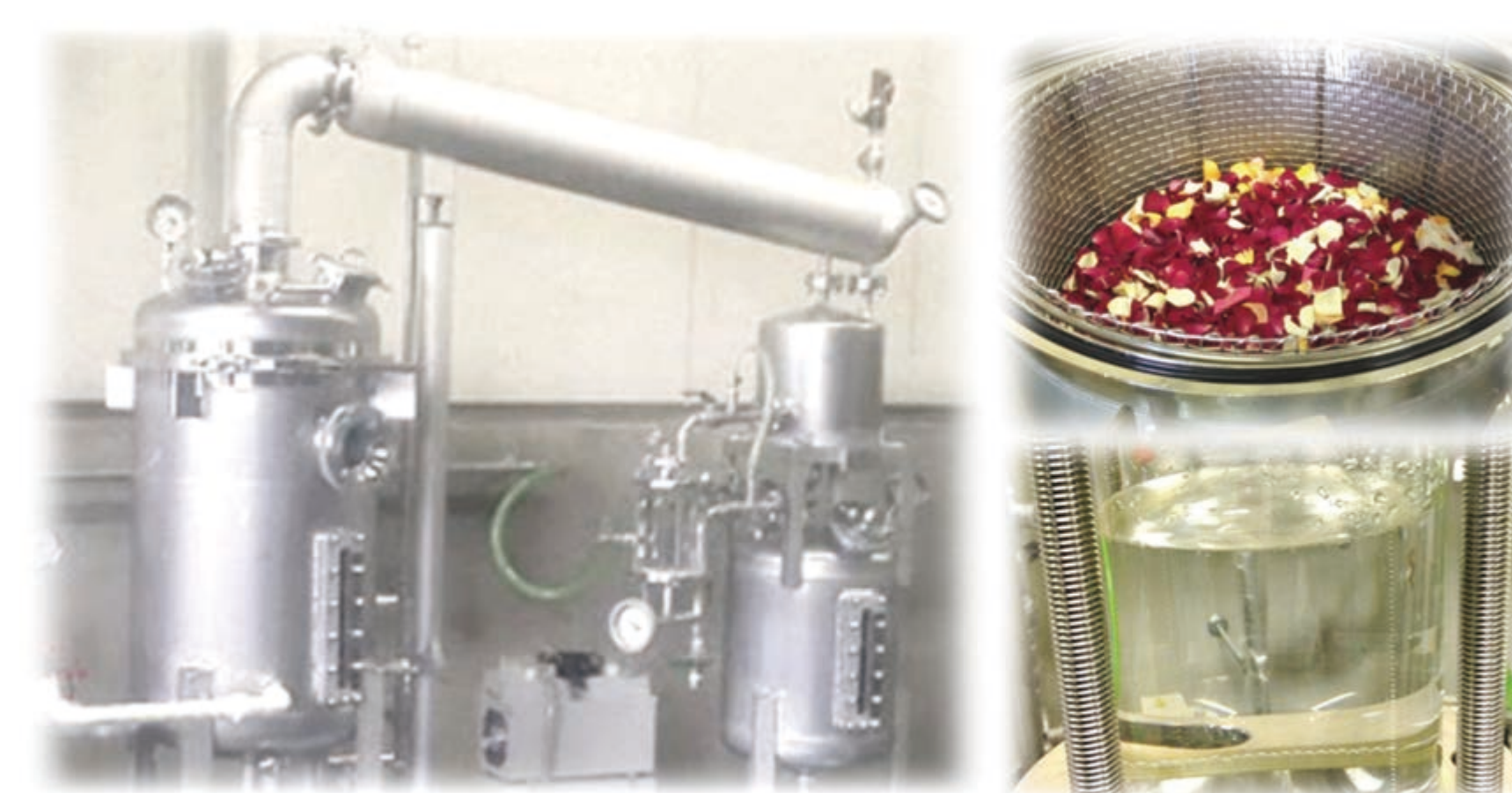
肌をさらりとさせるボディ&ハンドクリームです。

特徴①：セルロースナノファイバーの使用

セルロースナノファイバー (CNF; Cellulose Nano Fiber) は、幅が数nm～数十nmのバイオマス素材で、保水性、チキソトロピー性など、化粧品原料として有益な性質を有しています。

特徴②：バラ抽出エキスを使用

静岡市のバラは、地域産業資源に認定され、県内で最も多く栽培されています。規格外のバラ花弁を、減圧水蒸気蒸留法を用いて、数種混合した「静岡産バラ」の花びらからバラ抽出エキスを採取し、活用しました(写真1)。



(写真1) バラ花弁蒸留風景



(写真2) バラ化粧品「baraiio」

公設試の貢献

①バラ抽出エキスの香気成分の解析

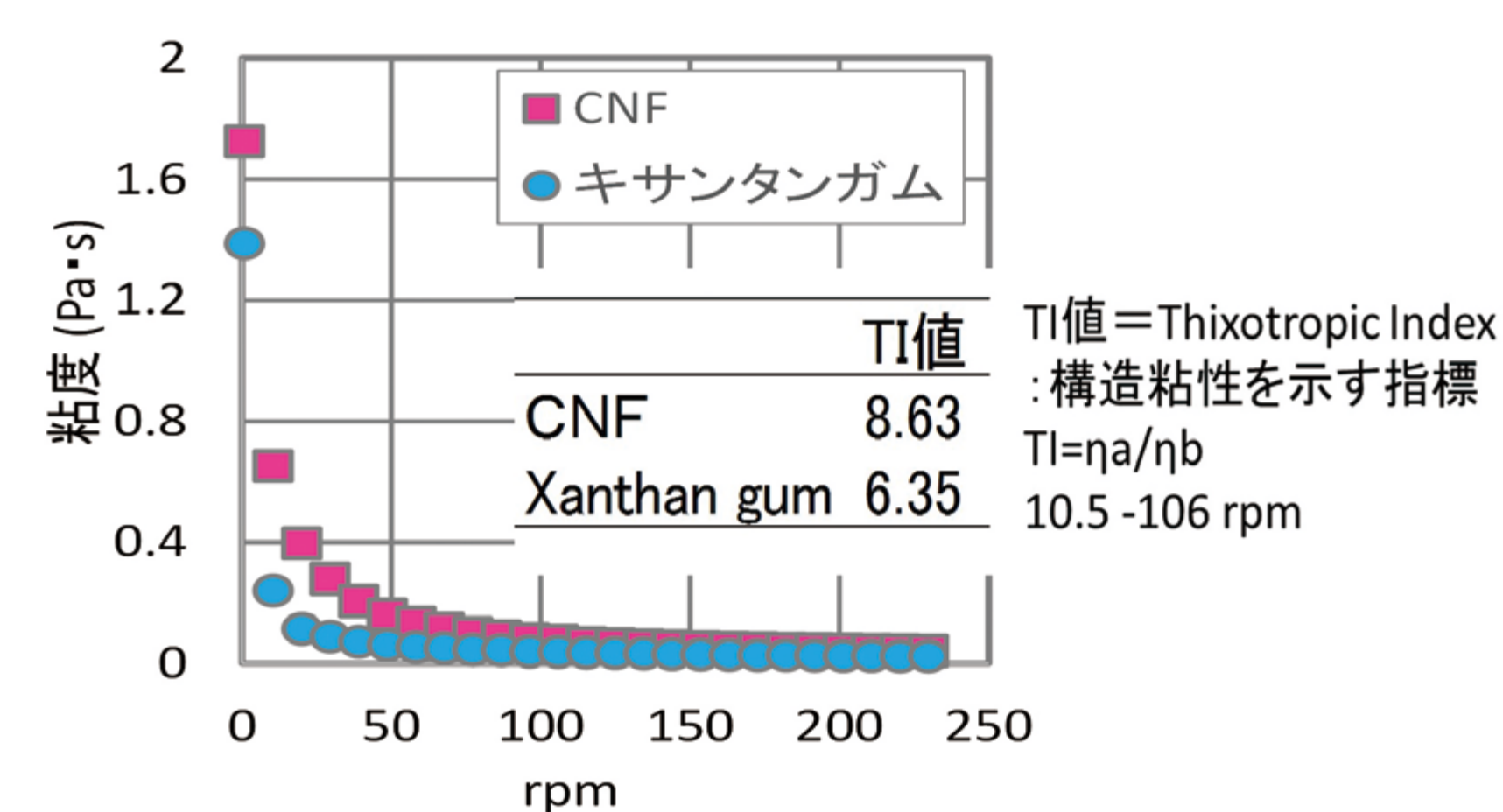
香気成分の解析により、バラ抽出エキスには、鎮静効果や美肌効果を有すると言われている3,5-Dimethoxytoluene(DMT)が豊富に含まれていることが分かりました。

②CNFの物性評価

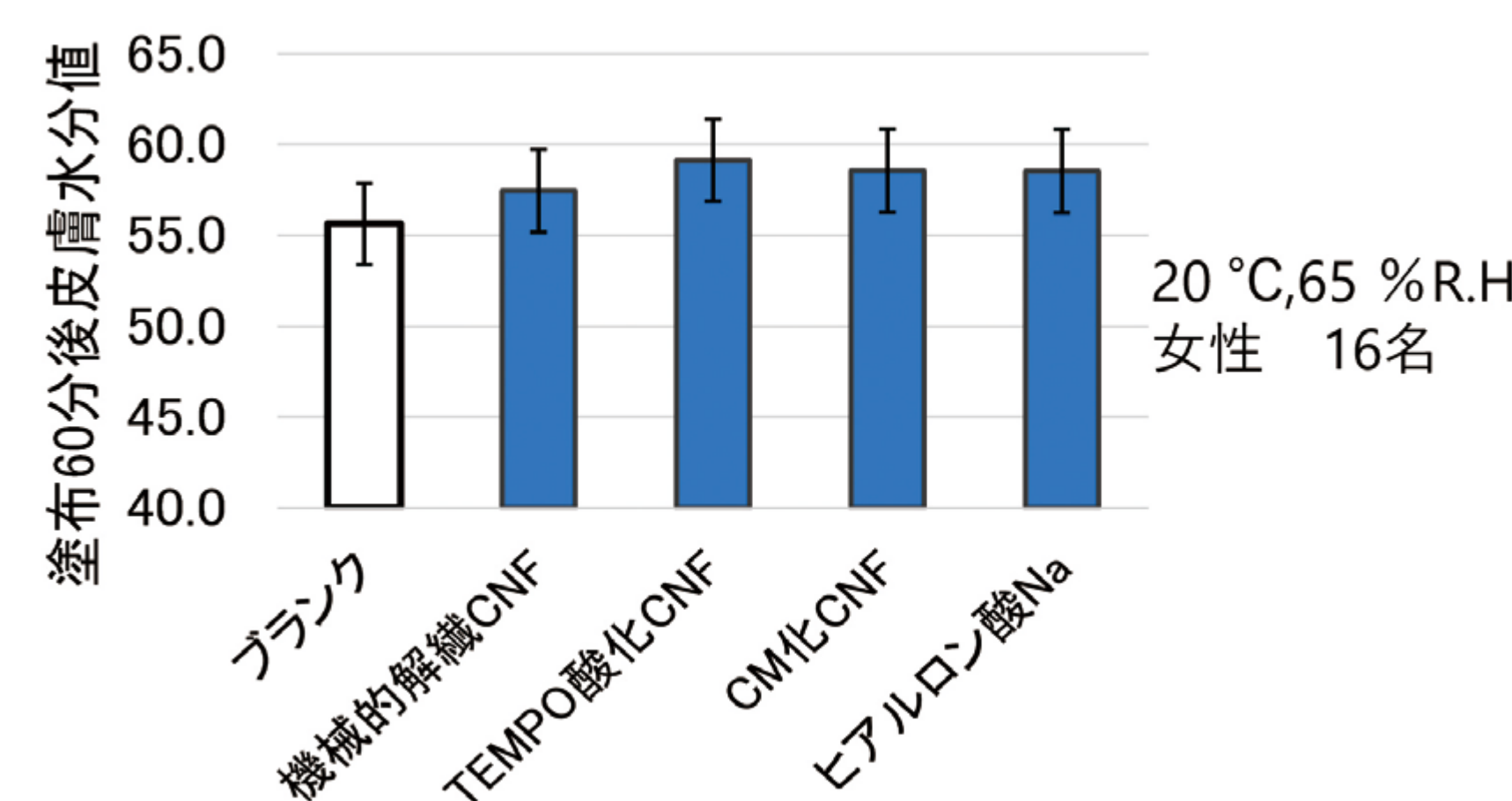
CNFの粘度特性を評価したところ、キサンタンガムに比べ、チキソ性(TI値)が高く(図1)、「手に取った際は垂れず、塗布時には塗りやすい」といった特性を付与する増粘剤であることが分かりました。

③CNFの水分保持性評価

CNFを添加したモデル化粧水による、人肌の水分保持性を評価しました。前腕部に塗布60分後の水分値は、ヒアルロン酸Naを添加した対象とほぼ同等な値を示すことが確認されました(図2)。



(図1) CNF及びキサンタンガムの粘度測定(各0.8wt%)



(図2) 添加濃度0.1wt%化粧水塗布60分後の水分値

お問い合わせ先

静岡県工業技術研究所

連絡先：食品科 sk-syokuhin@pref.shizuoka.lg.jp